



東京、2013年4月24日

プレスリリース

AXA と東京大学、学術研究講座「健康と人間の安全保障 (AXA)」を開設

グローバルに事業展開する保険グループ AXA の学術研究支援基金「AXA リサーチファンド」は、東京大学に 5 年間で総額 125 万ユーロ(約 1 億 4,000 万円)を拠出し、学術研究講座「健康と人間の安全保障 (AXA)」(井上真奈美 特任教授)を開設しました。井上氏は、平均寿命が世界一である日本で、主要リスク要因の削減による疾病予防の可能性を研究することで、人間の安全保障の実現に貢献することを目指しています。

日本人のリスク要因の動向

「日本人の平均寿命は、どのようにして世界一となったのか」。1986 年以降、女性の平均寿命が世界一を維持し続け、2008 年に 86 歳という世界記録を達成した日本には、長寿の秘密があると言えます。長寿の要因解明は、世界の保健政策、また特に国民の健康増進に尽力している国々に重要な示唆を与えるものです。

そのため本講座で、井上氏は、池田奈由氏(特任講師)とともに、過去数十年間の日本における疾病や傷害等の特定のリスク要因の相互作用を解析していきます。解析のアプローチとしては、まず、人口を年齢、性別、地域、社会経済的要因ごとにセグメント化し、高齢化に焦点をあてたリスクの分布を把握します。さらに、それぞれのリスク要因の動向分析を行います。リスク要因の動向分析は、以下の理由から研究上重要な要素となります。

1. リスクに曝露してから健康に影響が出るまで(例:喫煙など)の危険因子の蓄積に時差が生じるため、現在のリスク要因の保有率よりも、リスク要因の保有率の動向のほうが蓄積されたリスク要因の状況をより強く映し出していること。
2. リスク要因の動向は、社会、政策が果たす役割やリスクへの曝露の技術的な決定因子を評価する際に用いることができること。
3. 複数のリスク要因の動向を相対評価することによって、国民に対する健康保健政策の優先順位付けができること。

費用対効果を最大化する保健政策の特定

複数のリスク要因の動向を同時に比較し、死亡率の格差に焦点を当てることによって、国の保健政策だけでなく、社会経済や技術の変化がリスク要因や罹患パターンにどのように影響を与えるかを経験的に理解することが可能となります。さらに、その影響を緩和するための臨床、公衆衛生および社会政策などのそれぞれの費用対効果を比較することによって、比較的低コストで容易に削減できるリスクと、容易には削減できないリスクを特定していきます。

こうした研究成果は、利用可能な財源を配分する際の意味決定にも役立つものであり、政策提言や疾病および傷害予防のプログラムへの情報提供にもつながります。また、費用対効果を最大化できる施策を特定することによって、政策決定者は国民の健康を改善するための政策に優先順位付けをした上で、政策協議に入り、どのような施策に注力すべきかを明示することができます。この研究成果は医師、公衆衛生の専門家、保険会社や政府の政策決定者にとっても有用です。さらに、WHO(世界保健機関)とい

った、様々な大学の研究者と連携している国際機関にとっても、主要リスクに対応するための計画を策定する上で高い関心を集めるものとなります。

日本で最も権威ある大学における学術研究講座の開設

東京大学は、1877年に設立された日本で最初の国立大学です。日本を代表する世界有数の大学で、広範囲にわたる優れた研究は高い評価を受けています。同大学の医療および健康科学分野における確固たる地位は、長年にわたって築かれたもので、優れた研究や教育の賜物です。同大学は、様々な領域の研究者が、協業し実りをもたらすことを推進しており、日本政府、国際機関、アジア各国の政府や大学との関係も構築しています。

東京大学は国際的な役割を果たすための研究体制を構築することを優先課題としており、AXAの研究支援は時宜を得たものとなります。すなわち、優れた教育と人類の英知の広がりを目指し、世界レベルの研究を行うという大学の意志に寄与し、従来の伝統的な境界線を越えた学術研究の融合、新たな分野の学究の創設を促進するというものです。東京大学は、本講座の開設を通じて、日本の保健分野の課題に関して、政府やその他の組織の政策の策定への提言を継続していきます。世界の保健政策では、健康や医療に関する政策の策定や健康保険給付が最優先課題となっており、リスク評価とそれに取り組むための財源の調達手段が各国の健康保険制度の比較分析における中心テーマとなっています。

世界レベルの科学者による学術研究講座

本学術研究講座の特任教授として任命された井上真奈美氏は、筑波大学医学専門学群を卒業し、名古屋大学にて博士号を取得後、ハーバード公衆衛生大学院でトレーニングを積み、がんや循環器疾患の疫学など高齢化に直接関連する重要な領域において専門的な知見を重ねてきました。日本でも権威ある学術団体(日本疫学会、日本癌学会など)から表彰されるとともに、日本において複数の一流研究機関で研究に従事し、日本人の長寿の実態について深い知識を習得しています。井上氏は、同講座の教授としてふさわしい経歴を有しており、今回の支援は、同氏がライフリスク評価という学術分野において、知見を備えたリーダーとしての役割を強化する機会となるものです。

AXA リサーチファンドが認めた優れた学術研究講座

AXAは、リスクを予防するための知見を蓄積し、リスクとその影響から人々を守ることが保険会社としての社会的責任(Corporate Responsibility)であると考えています。こうしたリスクへの知見は、AXAのエキスパートがフィールドデータと社内分析に基づいて蓄積したものです。しかし、常に変化する社会において、過去の経験値、または既存モデルにあてはめるだけで未来を語ることはできません。AXA リサーチファンドは各国特有の、もしくは歴史的な慣習を問い直し、新しい独立した学術研究を支援することによって、リスクの現状を正しく理解することを目指しています。そして、公共の論議の場において、よりよい研究成果を共有するための取り組みを支援していきます。

アクサ生命保険株式会社の執行役兼チーフファイナンシャルオフィサーであり、この学術研究講座のスポンサーである住谷貢は次のように述べている。「私たちは、東京大学の学術研究講座開設を支援できることを大変誇りに思っている。AXA リサーチファンドの科学委員会が今回の支援を決定したことは、日本で世界レベルの研究が実施されていることを証明している。アクサ生命にとって、医療保障や死亡保障、リタイアメントは戦略的に重要な分野であり、この研究が長寿の要因をより深く理解することにつながることを願っている。長寿化にともなうリスクから、人々を守るとは保険会社にとって重要な社会的使命の一つである。この使命を果たすための道程は、今回のような基礎研究から始まると言っても過言ではない。この研究による成果や知見を、さらなるリスクの予防に活用し、人々のために役立てていきたい」。

* *
*

AXA リサーチファンドについて

AXA リサーチファンドは 2008 年に設立され、以降、環境、人間の生活や社会に関わるリスクの理解と予防に取り組む研究を支援しています。2013 年 4 月 1 日現在 9,900 万ユーロを拠出、49 国籍の研究者による 27 カ国の 367 のプロジェクトを支援。日本国内及び海外で活躍する日本人の研究者に対しては、これまでに合計 7 プロジェクト、179 万ユーロを拠出しました。支援対象は科学委員会によって決定されます。世界各国の一流研究者のリスク研究への取り組みとその研究成果の共有を支援することによって、AXA リサーチファンドは世論を喚起するとともに、AXA の専門知識と学術知識の探求に努めています。また、AXA は研究活動への支援を通して、長期的に安全で強固な社会を構築することを目指しています。AXA リサーチファンドの詳細(支援先の研究者、支援の仕組み、科学委員会のメンバーなど)はウェブサイトをご参照ください:

www.axa-research.org.

東京大学について

東京大学(東大)は、1877 年に日本で最初の国立大学として設立されました。日本を代表する大学として、あらゆる学問領域での研究活動が行われ、学部レベル・大学院レベルで幅広い分野のプログラムが開講されています。東京大学医学部と医学系研究科は、医学、健康総合科学の教育と研究を行い、それぞれの分野の明日を担う国際的リーダーの養成を目的としており、1858 年設置の種痘所をルーツに持つわが国では最も伝統のある医科系大学学部です。医学部医学科約 440 名、健康総合科学科に約 60 名の学生が在籍し、大学院医学系研究科には修士・博士に各学年 150~200 名の大学院生を受け入れています。体の仕組み、病気の原因、病態の解明、新しい診断法、治療法の開発、そして患者と社会のかかわりについての広い意味での社会医学すべての分野で国内はもとより国外に向けて益々優れた先駆的成果を発信し社会に大きく貢献しています。http://www.u-tokyo.ac.jp/index_j.html, <http://www.m.u-tokyo.ac.jp/index.html>

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、200 万の個人、2,500 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2011 年度には、2,510 億円の保険金や年金、給付金をお支払いしています。詳細は <http://www.axa.co.jp/life> をご参照ください。

AXAグループについて

AXA は世界 57 ヶ国で 16 万人の従業員を擁し、1 億 200 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2012 年度通期の売上は 901 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングス(基本利益)は 43 億ユーロ、2012 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 1,160 億ユーロにのびます。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。詳細は www.axa.com をご参照ください。詳細は www.axa.com をご参照ください。

メディアの問い合わせ先:

AXA リサーチファンド広報(パリ):

Guillaume Saintagne Tel +33 1 40 75 58 73 - guillaume.saintagne@axa.com

東京大学大学院医学系研究科・医学部総務係:

Tel: 03-5841-3304 ishomu@m.u-tokyo.ac.jp

アクサ生命保険株式会社:

広報部: Tel: 03-6737-7140 FAX: 03-6737-5964

アクサグループ広報(パリ):

Hélène Caillet Tel +33 1 40 75 55 51 - helene.caillet@axa.com

Guillaume Borie Tel +33 1 40 75 49 98 - guillaume.borie@axa.com